



重点課題3

疾病の早期発見への貢献

2030年
目標

簡単に検査できる健診サービスの普及による疾病の早期発見

健康を維持していく上では、自覚のない疾病の早期発見や未病対策が極めて重要ですが、健康診断の必要性が認識されている日本でも、定期的に健診を受けている人は対象人数全体の2/3程度※です。富士フィルムグループは、簡単に自分の健康を検査できるシステムを広く社会に普及させることで、疾病の早期発見、早期治療に貢献します。

※20歳以上で過去1年間に健診(健康診断、健康診査及び人間ドック)を受診しなかった人の割合は、男性27.8%、女性37.1%(「平成26年国民健康・栄養調査結果」(厚生労働省)より)

2018年度
の活動

- 健康診断を法的義務とされていない健康保険組合員の「被扶養者」を中心に、自己採血による郵送血液検査サービス「CureSign(キュアサイン)※」の普及推進を継続

※CureSign:採血キットでほんの数滴の血液を自分で指先から採血し、郵送で検査センターに送ると、約1~2週間で検査結果の詳細が郵送で届く仕組み。現在、メタボリックシンドローム判定を含む生活習慣病全般14項目の検査、胃がん、胃潰瘍、十二指腸潰瘍のチェックが可能。2018年度現在、年間約14,000人が利用

今後の
活動&目標

- 健康保険組合での導入を加速、保険会社の加入審査への導入を検討
- 海外への拡大の一環として、JETRO実証事業に採択されたタイでの事業化を実施

重点課題4

健康増進、美への貢献

2030年
目標

(1)健康寿命を延ばす取り組みの推進 (2)輝く女性支援の推進

少子高齢化が進むなか、医療費の抑制や介護問題解決のために健康寿命※の延伸は大きな社会問題です。同時に、高齢者も社会を支える役割を担い続けることが求められています。富士フィルムグループは、サラシアやアスタキサンチンを採り入れ、独自の技術を活用したエイジングケア化粧品や機能性表示食品により、「年を重ねるほど楽しくなる人生へ。いくつになっても笑いあえる社会へ。」の実現に挑戦していきます。

※健康寿命:2000年にWHO(世界保健機関)が提唱、健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと

2018年度
の活動

【目標】健康寿命を延ばし、ポジティブな毎日をサポート

- 腸内環境やお通じの改善、悪玉(LDL)コレステロールを下げるなど、生活習慣病などの改善に役立つ機能性表示食品の発売

【目標】健康的な美しさを維持し、輝き続けたい女性を支援

- 肌のハリや弾力に関するコラーゲンの新たな機能に着目し、独自成分「ナノレスバトロールEX」を開発。同成分を配合した機能性化粧品を発売
- 最新の紫外線研究をもとに開発した「D-UVガード+」を生かした製品を新シリーズとして展開
- 10万人無料サンプルプレゼントキャンペーンなど、「アスタリフト」の大規模な体験機会を創出

今後の
活動&目標

- 高機能・科学的なエイジングケア製品の体験機会を拡大(2030年までに累計1,000万人体験目標)
- 当社ヘルスケア関連情報について、体験者のSNSなどでの再発信数向上(2030年までに累計10万件目標)